

令和3年度 埼玉県学力・学習状況調査 正答率及び伸びの経年変化 (R1→R3)

1 調査結果(小学校)

本年度		…県以上					…県以下				
		4年生		5年生			6年生				
		国語	算数	国語	R1→R3伸び	算数	伸び	国語	R1→R3伸び	算数	R1→R3伸び
	埼玉県平均正答率	58.0	69.9	56.7	-	61.6	-	58.6	5	60.9	5
	幸手市平均正答率	57.9	71.5	62.0	-	60.5	-	58.0	6	63.2	4
	県平均との差	△ 0.1	1.6	5.3	-	△ 1.1	-	△ 0.6	1	2.3	△ 1

①

同一集団を比較すると…
 ①令和元年度4年生の国語の県平均点との差は△1.8であったが、令和3年度6年生になると△0.6になった。算数では、+0.7であったが、6年生では+2.3になっている。国語は県平均以下ではあるが差を縮め、算数は県平均以上で、更に差を開きつつある。
 同一学年で比較すると…
 ②中学校では、令和元年度3年生は県平均との差が国語△2.6、数学△2.2、英語△5.4であったものが、令和3年度はその差が開き、国語△3.0、数学△8.3、英語

2 調査結果(中学校)

本年度		1年生				2年生				3年生						
		国語	R1→R3伸び	数学	R1→R3伸び	国語	R1→R3伸び	数学	R1→R3伸び	英語	国語	R1→R3伸び	数学	R1→R3伸び	英語	R1→R3伸び
			埼玉県平均正答率	61.3	5	59.4	3	63.1	3	59.1	4	62.6	68.1	3	58.1	4
	幸手市平均正答率	61.1	5	56.2	1	59.4	2	52.9	2	56.5	65.1	3	49.8	2	51.0	-
	県平均との差	△ 0.2	0	△ 3.2	△ 2	△ 3.7	△ 1	△ 6.2	△ 2	△ 6.1	△ 3.0	0	△ 8.3	△ 2	△ 9.0	-

②

令和3年度 全体の考察

・小学校の幸手市平均正答率は、6つのテストの中、3つで県平均正答率を上回った。伸びについては、幸手市は令和2年度に実施をしなかったため、令和元年度と令和3年度の伸びで比較した。その結果、国語は県平均以上、算数は県平均をやや下回る伸びであった。国語に関しては、市内の多くの学校が国語科をテーマにした研究を推進していること、算数に関しては、算数のパワーアップシート及び確認テストを継続して実施していることなどが本結果に表れたと考えられる。現在、国語のパワーアップシート及び確認テストも作成中である。今後、4年生になった時点で国語の力が確実に身につけている状態にすることで、更なる伸びが期待できる。

・中学校の幸手市平均正答率は、全て県の平均点に達していない。国語においては、伸びが県平均程度見られるが、数学はどの学年も県と比べ、2ポイント低い伸びであった。学力テスト前の各校へのプリント配布、強化期間の設定、授業改善、家庭での学習、スマホ等の生活環境の各側面から見直し等各種取組を行ってきたところだが、今後は分析結果を受けて、各学校への支援体制を考えていく必要がある。

・国語4年生の正答率はもともと県平均程度(県平均よりやや低い)。その後、県平均並みに伸ばせている。算数4年生の正答率はもともと県平均以上。その後、伸びが県平均を下回ることが続いたため、最終的には正答率が県平均を下回る結果となっている。

★「伸び」について
 「伸び」とは、「学力推定結果の平均値(=能力値)」を、学力を測定する尺度上で一定の間隔で分割して表したものの(レベル)を、昨年度と比較したときの差分を表します。
 この「伸び」が高いほど、昨年度からの学力の伸びが大きいと考えられ、昨年度実施時から今年度実施時までの、各学校や市教育委員会における施策の効果が検証できるものと考えられています。